



聖心女子大学

University of the Sacred Heart, Tokyo

2023年度 一般選抜 解答と講評

目次

【3教科A方式】

国語	p. 1
英語	p. 3
日本史	p. 5
世界史	p. 7

【3教科B方式】

国語	p. 9
英語	p. 11
日本史	p. 13
世界史	p. 15

【総合小論文方式2月期】	p. 17
--------------	-------

【総合小論文方式3月期】	p. 19
--------------	-------

一

【解答】

問一 (1) ② (2) ② (3) ③ (4) ③ (5) ②

問二 (6) にわ (7) じょうし (8) せんぱく (9) さわ (10) しゅぎよく

【講評】

出題された漢字は、日常的に使用されるものです。問一は、問題文の傍線部と同じ漢字を含むものを、5つの選択肢から選ぶ問題でした。(4)の正答率がやや低かったものの、問一全体としては6割程度できていました。問二は(7)の正答率がやや低かったものの、問二全体としては6割程度できていました。送り仮名のある漢字を問う問題では、漢字の読み方のみ答えるべきところを、送り仮名まで書いてしまったために不正解となるケースが見られました。大問一は、漢字の読み書きを問うとともに語彙力を問う問題でもあります。日頃から読書などを通して語彙の知識を増やしておくといいいでしょう。

二

【解答】

問一 世界じゅうの人たちの出来事 問二 ③ 問三 ② 問四 ③

問五 下の講評を参照 問六 ① 問七 ④ 問八 ①

【講評】

問一は、サトヤム老人が「眼を輝かして」「見入っている」のが何か、を考えれば容易。よくできていました。問二は「あらゆる運命」「運命の様々な形」から、幅広く捉えたい。問三では③「ゆくしかない」⑤「始まりに戻る」が不適。問四「豊か」の意味を考えてください。問五。老人の時間感覚とは人間の生の時間が変転し繋がるものだという事で、それゆえに個々の人生の出来事を大仰に捉えない、ということに繋がります。問六「であります」が結構出てきている、と気づきたい。問七はよくできていました。問八は代表的な翻訳詩集。

三

【解答】

問一 A ④ B ⑤ 問二 a ⑨ b ② c ⑧ d ④ e ⑤ f ③

問三 (1) ② (2) ③ (3) ① 問四 下の講評を参照 問五 ④

問六 ①・③ (順不同) 問七 ③ 問八 ④

【講評】

問一は古文単語の、問二は文法のそれぞれ基本問題です。問二dは正答率が低かったです。問三は主語を問うもので、文脈の理解を確認しています。これらは比較的よくできていました。問四では「すさまじ」「いとど」の意味を押さえた上で、直前の文章に着目し、どうい

う状況に対して「いとど」と述べているのかを教えてください。問五は敬語や時制から絞り込めます。問六は本文の二段落目の内容に着目します。問七は本文全体の内容理解を問うものです。問八は基本的な文学史の問題です。

四

【解答】

問一 a ④ b ① c ③ 問二 「それどころ (実は、大人)」 問三 ② 問四 ⑤
問五 災害待ち 問六 下の講評を参照 問七 i ③ ii ⑤ iii ⑦ iv ⑥

【講評】

問一は前後の文脈を読み取った上で選びます。問二は、大人でも自分の能力の把握ができず合理的な行動がとれないことがポイントです。問三は選択した人と責任を負う人の関係を考える問題ですが、よくできていました。問四は一つのルールをすべてに対応するという意味の熟語です。問五は災害が起こると地方自治体は国から補償がもらえるので、それを期待しているという意味の言葉を抜き出します。問六は保険料を高くして土地のリスクを伝えたとしたら、そこに住んでいる人はどうするでしょうか。ということをもとめます。問七は全体の論旨が理解できているかどうかを問う問題ですが、正答率は高かったです。

A方式は従来通り大問3題が出題され、2題は論説文で1題は会話文です。ある程度の長さの文章を読み、要点を把握すること、そして、自分のことばで考えたことを論理的に説明できる力が要求されます。受験生の皆さんは、日頃から読む・書く・聞く・話すの四技能にわたって英語を使いなれるように心がけ、語彙、文法をしっかりと体得するようにしましょう。

I.

【解答】

問1 (A) distinguish (B) invention (C) confusion (D) cruelty (E) simplify

問2 1. ② 2. ③ 3. ① 4. ④

問3 ②

問4 このツイートへの反応を見ると、性別によって使い分ける代名詞をヨーロッパ人が日本人に押し付けたということに衝撃を受けたというコメントがツイッターにたくさん投稿されていた。

【講評】

夏目漱石の小説の英訳や研究書の著者として知られるイギリスの著述家が、日本語に性別によって使い分ける代名詞「彼」「彼女」が導入された経緯について解説した文章です。問1の派生語を書く問題は毎年出題されていますが、全部できた人はかなり少なかったです。勝手に適当な単語を作らず、派生語によく使われる接尾辞をまとめて整理・復習しましょう。問2は内容理解の確認、問3は本文中の一文の意味に近いものを選ぶ問題です。問4は日本語訳。要注意点として、shocked はコメントを見たひとが受ける印象が「衝撃的」なのではなく、「衝撃を受けた」という内容のコメントということです。pronouns を pronounce/pronunciation と混同した人が相当数いましたが、この文章が話題にしている代名詞のことです。

II.

【解答】

問1 (ア)③ (イ)② (ウ)④ (エ)③ (オ)④

問2 (a)③ (b)③ (c)② (d)① (e)① (f)②

問3 17)① 18)⑨ 19)⑧ 20)⑦ 21)⑥ 22)⑤ 23)④ 24)②

問4 ①

【講評】

会話文の慣用句や語法を問う問題です。日頃から英会話によく馴染んで、日常的によく使う言い回しを体得するようにしましょう。問1(イ)は see が疑問文の内容の目的語を二つと

る構文です(see how ... / see if ...)。問2(d)は簡単ではないことを「なんとかやっていく」という意味です。問3は会話文の要旨を表す文章の空所補充で、これはよくできていました。問4は本文の主題を問う問題です。全体の会話から要点を掴みとる必要があります。

III.

【解答】

問1 (1) ③ (2) ④ (3) ④ (4) ③ (5) ①

問2 (A) ④ (B) ② (C) ③ (D) ⑥

問3 (a) ③ (b) ① (c) ③ (d) ②

問4 ④ ⑤ (順不同)

問5 (Answers vary)

【講評】

日本でも年々その深刻さが身近に体験されるようになってきた気候変動ですが、この文章はなぜ私たちは気候の変化に気づきにくいのか、気づくためにどのような身近な方策があるのかを考察したものです。問1、問2は文法と論理性を問う空所補充問題。問2(A)は birthdays という語に惑わされて①とした人が大多数でしたが、正解は separating (=that separate)です。問3はそれぞれの表現に近い意味を選ぶ問題で、(c)を①とした人が大多数でしたが、調査したいのは気候そのものの変化ではなく、気候についての人々の認識(perceptions)の変化です。問4は本文の内容についての正誤問題、問5は毎年出題されている英作文問題です。ほとんどの受験生は、特に年配の人から戦争体験の話を書くという話題で、書くべき内容をしっかりと持っていました。ただし英作文としては力不足の人が多く、基本的文法(単数 vs 複数、冠詞の要不要、主語の人称と数に応じた動詞の形) や、文章を断片的センテンスの羅列でなく、構成や展開のある「パラグラフ」として書くことを、日ごろからもっと意識して訓練しておいてほしいと思います。

(I)

【解答例】

問1 ア 狩猟 イ 好太王 ウ 持統 エ 坂上田村麻呂 オ 藤原純友

問2 (a) ① (b) ① (c) ④ (d) ④ (e) ④ (f) ③ (g) ② (h) ④

問3 (1) 奴 (2) 加耶 (3) 国造 (4) 藤原京 (5) 隼人 (6) 多賀城 (7) 棟梁

【講評】

原始時代から平安時代までの「戦争」に関する文章を読んで解答する問題です。記述式の間1・問3のなかでは、問3(3)が意外とできていませんでした。なお問3(2)は「伽耶」「加羅」「任那」も可です。マーク式の間2は、正答率が平均で73%ほどでしたが、(g)の東国・西国にあてはまらない国については、正答率が50%強とやや低調でした。旧国名や七道に関する設問はよく出題されるので、教科書の地図をしっかりと見ておくようにしましょう。

(II)

【解答例】

問1 (A) 源実朝 (B) 記録所 (C) 山城の国一揆 (D) 年行司 (E) 分国法

(F) 安土 (G) 五奉行

問2 (a) ④ (b) ③ (c) ① (d) ③ (e) ④ (f) ④ (g) ① (h) ②

(i) ② (j) ② (k) ③

【講評】

中世から近世はじめにかけての「合議制」に関する文章を読んで解答する問題です。問1においては(B)と(C)の正答率が低かったです。(D)については「年行事」でも正答です。「会合衆」「烏合衆」などの誤答が目立ちました。(F)に関しては「安土桃山城」との誤答が散見しました。「桃山」は伏見(京都府)を指す言葉です。問2については(k)の正答率が低かったようです。前田利家の死を契機に徳川家康と石田三成の対立が先鋭化したという流れを押さえておきましょう。

(Ⅲ)

【解答例】

問1 ア 一向 イ 島原・天草 ウ 生類憐み(の) エ 開帳 オ 復古

問2 (a) ② (b) ④ (c) ④ (d) ③ (e) ③ (f) ③ (g) ③ (h) ② (i) ④

問3 (1) 不受不施 (2) 寺請 (3) 二宮尊徳 (4) 大教宣布

【講評】

江戸時代から明治はじめにかけての宗教政策に関する文章を読んで解答する問題です。記述式の問1と問3はおおむねよくできており、とくに問3(4)の大教宣布はやや難しいかと思っていましたが、正答率は高かったです。マーク式の問2では、(b)の正答④にある土御門家で戸惑った人が多かったようです。しかし、寺院法度では本山末寺制度をとったこと(①)、神仏分離や修験道の廃止が明治初期であることから、消去法で正答にたどり着くことができます。

(Ⅳ)

【解答例】

問1 イ 士族 ウ 平民 エ 財閥

問2 多くの犠牲や負担に耐えて戦ったにもかかわらず、賠償金が得られなかった点。

問3 ②

問4 (a) ③ (b) ② (c) ④ (d) ④ (e) ④ (f) ③ (g) ⑤ (h) ②

【講評】

華族制度をテーマに近現代の日本について基本的なことがらを問いました。問1では、基本的な用語の知識を問いました。問2は、よく知られた史実の背景を問いました。日露戦争では、ロシアから賠償金を全く獲得できなかったことがポイントです。マークシート問題では、問4の貴族院に関する(c)が難しかったようです。帝国議会や貴族院の性格をしっかり押さえておきましょう。貴族院には勅選議員や多額納税者議員もいて、全ての議員が皇族や華族から選ばれたわけではありません。(f)や(h)もやや難しかったようです。重要な人物がどのような人生やキャリアを歩んだのか。また、それぞれの内閣や戦争、時代などにはどのような特徴があったのかを整理しておきましょう。

(I)

【解答例】

- 問 1-1 パクス＝ロマーナ（ローマの平和） 問 1-2 ③
問 2-1 ⑤ 問 2-2 ② 問 2-3 後漢書 問 2-4 ⑤
問 3-1 ⑤ 問 3-2 啓蒙専制君主 問 3-3 ③
問 4-1 隋 問 4-2 ⑤

【講評】

西洋史上の有名な著作2点に関連する事柄を幅広く問いました。全体として、ひととおり勉強した人なら困難なく正解を出せる出題になったようです。とくに古代ローマに関する問1-1や問2-2は基本的なものです。いっぽう東西交渉についての問2-3、問2-4は難しいかと思いましたが、なかなか健闘している印象です。問3-2も基本的な用語ですが、記憶が不完全だったり、漢字が正しくなかったりした答案が目につきました。中国の科挙についての問4-1、問4-2の出来は良かったと思います。

(II)

【解答例】

- 問 1 ③ 問 2 イブン＝バットゥータ 問 3 メッカ 問 4 トンブクトゥ 問 5 ②
問 6 ① 問 7 スワヒリ 問 8 ① 問 9 ④ 問 10 ③ 問 11 ④

【講評】

西アフリカおよび東アフリカ沿岸部のイスラーム化に関する問題でした。記述式の問題は全体的によく解けていましたが、問2でイブン＝ルシュド、問3でイエルサレム／エルサレムという解答がありました。同じく記述式の問4の正答率は低くなるだろうと予想していましたが、結果としては他の問題と同じくらいの高い正答率でした。マーク式については、問10の正答率が50%以下でしたが、全体的には高い正答率でした。

(Ⅲ)

【解答例】

問1 ② 問2 ②・④ (順不同)

問3 望厦条約：合衆国 (アメリカ、アメリカ合衆国)、黄埔条約：フランス

問4 ② 問5 ② 問6 キリスト教の内地布教権 問7 ⑤ 問8 マルサス

問9 八旗 (緑営) 問10 ① 問11-1 ⑤ 問11-1 ③ 問11-3 ④

【講評】

(Ⅲ) は中国史をとりあげ、清朝末期の動乱、とくにヨーロッパ列強が及ぼした影響について問いました。アヘン戦争に関する問題は正答率のばらつきが目立ち、問2は8割を超える一方、問5は5割を切りました。重要な出来事については、原因と結果の両方を押さえておきましょう。中国の重要な都市について、その位置関係を問う問7も難しかったようです。これは基本的な知識ですので、教科書に挿入されている各種の地図をよく見ておきましょう。記述式の問題では問6と問9の結果が良く、問8は空白が目立ちました。人物は名前だけでなく、主張や功績も把握しておきましょう。なお、問11はいずれも7割以上が正解でした。基本的な用語の整理ができています。

(Ⅳ)

【解答例】

問1 ① 問2 ④ 問3 共和 (党) 問4 ④ 問5 ② 問6 ①

問7 ④ 問8 ① 問9 ウェストファリア条約 問10 ②

問11 ブール人 (アフリカーナー) 問12 ケープ植民地

問13 A クリミア戦争 B 南北戦争 C 百年戦争 D 三十年戦争 問14 ④

【講評】

欧米諸国が関わった戦争についての問題です。全体的にまずまずの出来でしたが、問8の正答率が4割、問10の正答率が5割程度とやや低く、「神聖ローマ帝国」という、現在の国家形態とは異なる政治的枠組みの存在が理解を難しくしているのかもしれませんが。戦争の名称を答える問13ではAのクリミア戦争がやや難しかったようですが、B、C、Dは比較的よくできていました。少数ながらCとDの答えを逆にしている答案もあって残念でした。

一

【解答】

問一 (1) 懐柔 (2) 阻 (3) 渴望 (4) 幻 (5) 厄介

問二 (6) そむ (7) しゅしょう (8) へいぜい (9) くじゅう (10) えとく

【講評】

出題された漢字は、日常的に使用されるものです。問一は(1)の正答率がやや低かったものの、問一全体としては7割程度できていました。問二は(8)の正答率がやや低かったものの、問二全体としては7割程度できていました。大問一は、漢字の読み書きを問うとともに語彙力を問う問題でもあります。日頃から読書などを通して語彙の知識を増やしておくといいでしょう。なお、解答は、点画をはっきりと大きく、丁寧に書くよう心掛けてください。

二

【解答】

問一 A① C⑤ 問二 ②③⑥ (順不同)

問三 ア② イ③ ウ⑥ エ④ オ⑧ カ⑦ 問四 なまなましい死そのもの

問五 ⑤ 問六 ①⑤ (順不同) 問七 ④

【講評】

問一の語義問題は、言葉の辞書的な意味と前後の文脈、両面から判断します。問二は修辭法の基本知識を問うもの。問三は本文から三つの葬儀の対比を読み取ります。この問二、三はよくできていました。問四はここでの「現実」が「死のありのままの姿」をさすことを読み取ります。「死」に触れていれば上記以外の解答にも中間点を与えます。問五は「ありのままの死」と「それを覆い隠すもの」の対比で考えます。問六は本文の内容に即して選択。問七の文学史問題は、選択肢に著名詩人の代表作が多いため、消去法で考えるとよいでしょう。

三

【解答】

問一 A④ B⑤ 問二 a⑧ b⑤ c⑦ d④ 問三 ③

問四 (1)⑤ (2)① (3)② (4)② 問五 この方の営み 問六 ②

問七 ②⑤ (順不同) 問八 ③ 問九 ⑤

【講評】

問一は基本単語を確認し、問二・三は文法の基本を確認する問題です。問四は敬語の使用と文脈から正確に読解出来ているかを確認しました。(1)(3)は謙讓語、(2)(4)は尊敬語です。

問五は「行ひ」が仏道修行を意味することをおさえた上で、「この方の営み」の「この」が指す内容を考えます。問六は省略されている内容を読み取る問題で、直前に「……いとうらやましければ」とあるのがポイントです。問七は和歌のやりとりを読み解く問題で、(I)の「浅茅生の露のやどり」と(II)の「色変はる」がポイントになります。問八は文章全体の理解度を確認しました。正答率は高くありませんでした。問九は基本的な文学史の問題です。

四

【解答】

問一 a④ b④ c② 問二 ④ 問三 A② B③ C⑦ D⑥

問四 ア⑤ イ② 問五 その読み自 問六 ⑤⑥(順不同)

【講評】

問一は語句の意味を問うものですが、前後の文脈から判断できます。問二は第一段落の「再会」の語、第二段落の「ヨーロッパ側の認識しか記録に残されていない」という部分がヒントになります。問三は、接続詞の問題。文脈から考えましょう。問四アはあまりできていませんでした。ブルーメンバッハが「分類は恣意的で互いの境界も明瞭でない」と述べています。イは空欄イと同じ段落に「分類は社会的に大きく歪められた」とあります。問五は抜き出し問題です。人種の分類がなぜ行われなくなったのか、その理由をまとめている箇所を探しましょう。問六は内容把握の問題ですが、問題文を丁寧に読めば難しくはありません。⑤は文中に何度か書かれています。「人種分類」を否定している文章だと決めつけては、誤ります。

2023 年度 一般選抜 3 教科 B 方式 「英語」

B 方式は前年度同様、大問 3 問が出題されました。2 題は論説文で、1 題は語法・文法を問う問題が出題されています。マークシートで答える問題が多くありますが、A 方式同様、日頃から一定の分量の英語を読み、正確に要点を掴む力を養うとともに、基本的な語彙文法力を身につけておきましょう。

I.

【解答】

問 1 (1) ③ (2) ③ (3) ②

問 2 (ア) ③ (イ) ④ (ウ) ③

問 3 (A) ① (B) ② (C) ① (D) ④ (E) ③

問 4 ②

問 5 (A) pandemic (B) hybrid (C) communicate (D) experimental

【講評】

コロナ禍で普及した在宅勤務が、ポストコロナの時代に推移していく過程でもハイブリッド方式の勤務として継続されていくべきなのかどうかについて、アメリカでどのような議論がなされているのかをレポートする文章です。問 1 は適語補充、問 2 は動詞の形、問 3 は語彙、問 4 は文脈に即して代名詞の指示するものが何かを問う問題です。いずれについても正答率は過半数を超えていました。問 5 は文章全体の要旨を完成するために本文中からキーワードを見つける問題ですが、これも比較的よくできていました。ただし、空所に入る語の品詞に注意しないと、本文中に出てくる関連単語であっても不適合となります。

II.

【解答】

問 1 (1) ① (2) ③ (3) ① (4) ② (5) ②

問 2 (ア) ③, ⑤ (イ) ③, ② (ウ) ②, ③ (エ) ③, ⑤

問 3 (A) ③ (B) ② (C) ③ (D) ① (E) ①

問 4 (a) ② (b) ① (c) ① (d) ② (e) ①

問 5 ジョロウグモがアメリカに入ってきたことも、ジョロウグモ自身のせいではない。

【講評】

北海道以外の日本には広く生息するジョロウグモ(女郎蜘蛛)ですが、近年これがアメリカで外来生物として拡散している事態について、このクモを害虫とみなすべきではないというアメリカの生態学者の主張を紹介する文章です。問 1 は文法と論理を問う問題、問 2 は並べ替え、問 3 は語句の意味、問 4 は論旨の把握。一番正答率の低かった問 1(4)は部分否定の not necessarily(必ずしも～でない)です。問 5 の和訳問題では“it ... that ...” の形式主語の

構文がとれているか、“not ... either ...”が「～も～でない」という意味にとれているかがカギとなります。

III.

【解答】

- A. (1) ① (2) ④ (3) ④ (4) ④ (5) ① (6) ② (7) ② (8) ②
(9) ① (10) ④ (11) ② (12) ③ (13) ① (14) ① (15) ③
- B. (1) ③ (2) ③ (3) ① (4) ② (5) ④ (6) ① (7) ①
- C. ②, ③, ④, ⑦ (順不同)

【講評】

文法・語法・慣用句に関する問題です。Aは問題によって正答率の高いものと低いもののはっきり分かれる傾向があり、実力の差がはっきり点差に出ることなので、意識して英語の慣用句、コロケーションを例文とともに覚える努力が必要でしょう。A(10)は「二者のうちで○○な方」を表す表現で、形容詞の比較級の前に the をつけます。Cは文法的に正しい文か否かを判定する問題で、①は a number of の部分に惑わされて単数と考え、動詞 aim は aims でないといけないと思った人が多かったようですが、これは複数扱いなので動詞の形は aim で誤りではありません。

(I)

【解答例】

問1 ア 乙巳の変(大化改新) イ 行基 ウ 桓武 エ 源信 オ 承久

問2 (a) ② (b) ③ (c) ① (d) ③ (e) ① (f) ③ (g) ② (h) ② (i) ④
(j) ④ (k) ② (l) ① (m) ② (n) ② (o) ①

【講評】

飛鳥時代から鎌倉時代にかけての僧侶に関する文章を読んで解答する問題です。記述式の間1では、ウを嵯峨天皇とする誤答が目立ちました。嵯峨天皇の信頼を得たのは最澄ではなく空海です。マーク式の間2では、(a)(g)(n)の正答率が40%未満でした。絵巻物の所蔵先を尋ねる(n)はやや難しかったかもしれませんが、七道の所属を尋ねる(g)は、本学ではよく出題されるので、教科書の旧国名の地図をしっかりと頭に入れておく必要があります。

(II)

【解答例】

問1 (a) ③ (b) ② (c) ② (d) ① (e) ④ (f) ③ (g) ③ (h) ① (i) ④
(j) ①

問2 (ア) 1297 (イ) 1467

問3 源頼朝や源義仲などが挙兵したことで福原京への遷都を断念した平宗盛など平家一門は、源義仲により京都を追われた。その義仲も頼朝に派遣された源範頼によって滅亡すると、範頼はさらに平家をも壇ノ浦の戦いにおいて滅ぼした。

【講評】

中世から近世はじめにかけての戦乱・災害と、その復興に関する文章を読んで解答する問題です。問1については(g)の正答率が低かったです。多くの日蓮宗の宗教者は「蓮」ではなく「日」が付きますので②と③の2択となります。②は近代の企業名です。問3については源氏の攻勢によって平家が福原京に退避したのではなく、すでに始まっていた遷都事業を断念せざるをえなくなった点がポイントとなります。

(Ⅲ)

【解答例】

問1 ア 関白 イ 五大老 ウ 徴兵

問2 (a) ④ (b) ① (c) ④ (d) ④ (e) ① (f) ③ (g) ② (h) ③ (i) ① (j) ③

問3 (1) 海賊取締(停止) (2) 人掃または身分統制

【講評】

豊臣秀吉の時代から明治初期にかけての軍事政策に関する文章を読んで解答する問題です。記述式の設問では、問1のアを「太政大臣」とする解答が目立ちました。少し細かいですが、問題文では「1585年」と年代を特定しており、太政大臣になるのはその2年後です。マーク式の問2では、江戸時代の民衆運動についての(e)がもっとも正答率が低かったのですが、「村方騒動」「国訴」「惣百姓一揆」などはよく出題されますので、その内容をしっかりおさえておきましょう。なお問3(2)については、問題文にあるように1591年に身分の移動を禁止する法令が出され、翌1592年には身分別に戸数・人数の調査を命じる法令が出されていて、両者をそれぞれどう呼ぶのかは、教科書によっても異なりますので、人掃(令)・身分統制(令)のどちらも正解としました。

(Ⅳ)

【解答例】

問1 ア 日露 イ サンフランシスコ ウ 日米安全保障(日米安保)

問2 (a) ④ (b) ② (c) ① (d) ② (e) ③ (f) ④ (g) ④ (h) ③ (i) ①

【講評】

若者に人気の街である原宿周辺を事例に、近現代日本の基本的なことがらを問いました。問1では基本的な用語を問いました。マークシート問題である問2では、(b)(c)(g)が難しかったようです。(b)については、その後の歴史で陸軍と海軍が分かれていることから判断が可能だったでしょう。(c)については、大日本帝国憲法は欽定憲法で、帝国議会は大日本帝国憲法に基づいて設置されました。帝国議会の審議は経ません。(g)のYについては、ガダルカナル島の戦いと絶対国防圏の意味に関する理解を問いました。ガダルカナル島撤退は、ミッドウェー海戦の敗北と並び、日本軍にとって第二次世界大戦の転換点となったものです。教科書等に載っている地図と合わせて理解しておきたいことがらです。

(I)

【解答例】

問1 ⑨ 問2 ② 問3 ② 問4 ④ 問5 仏図澄
問6 ③ 問7 ① 問8 ③ 問9 ① 問10 ④ 問11 ④
問12 ボロブドゥール

【講評】

インドから中国および東南アジアへの仏教の伝播について問いました。全体としては、Cのリード文に関わる問題の正答率も高かったのですが、AとBのリード文に関わる問題の正答率はさらに高い結果となりました。記述式の間5はよく解けていましたが、問12ではアンコール=ワットという解答が一部で見られました。マーク式の間10は5割を少し下回る正答率でした。消去法で正解にたどりつけるのではないかと思います。

(II)

【解答例】

問1 ア)エッフェル塔 ウ)ルーブル (美術館) オ)ノートルダム (大聖堂)
問2-1 バスティーユ牢獄襲撃 問2-2 ③ 問3 ③
問4-1 ③・④ (順不同) 問4-2 ⑤ 問5 ③
問6-1 アメリカ独立革命への参戦 問6-2 対仏大同盟 問7-1 ⑤ 問7-2 ③

【講評】

パリの歴史的な建築物・記念物に関する文章を読んで解答する問題です。残念ながら予想を下回る出来でした。とくに問1 ウ),オ)は常識的な事柄に属しますが、出題した時代がローマから19世紀までと広がったり、地理に関係したりしたので戸惑ったのかもしれませんが。問3の正答は、ナポレオンの皇帝就任前の出来事を最初に、転落の原因となった戦争を最後に置き選択しやすくしています。フランス革命についての間6の2問はまずまずの出来でした。問7-1は③を選んだ答えが多かったのですが、「教皇」とは、もともと「都市ローマの司教」であることを覚えてください。

(Ⅲ)

【解答例】

問1 ⑤ 問2 ② 問3 ④ 問4 ①・⑤ (順不同) 問5 ディズレーリ、保守党
問6 ②・④ (順不同) 問7 ③ 問8 ② 問9 ② 問10 サティヤーグラハ
問11 全インド＝ムスリム連盟 問12 ③

【講評】

インドを中心に、ヨーロッパ列強のアジア支配と民族運動について問いました。インド史に関する問題の正答率は総じて低めで、問1こそ7割を超えましたが、植民地化の経緯に関する問2と問3、独立に関する問12は5割を切っています。インドは、今後ますます重要性を増していく大国であり、私たちは、基本的な知識を持つべきです。その際、教科書にある地図をみて、国、地域、都市などがどこにある(あった)のか、地理的な情報も十分に整理しておきましょう。記述式の問題では問10が難しかったようです。総じて覚えにくい用語が多いことは確かですが、一層の目配りが必要でしょう。一方、よく解けていた問題は、問6,問8,問9のほか、記述式の問11です。

(Ⅳ)

【解答例】

問1 ③ 問2 サライェヴォ 問3 ドイツ 問4 ③ 問5 総力戦 問6 ②
問7 パレスチナ 問8 ③ 問9 シオニズム

【講評】

第一次世界大戦に関する問題です。1908年にオーストリアがボスニアを併合したきっかけは同じ年の青年トルコ革命ですが、ベルリン会議(1878年)と答えた人も多く、問1の正答率は3割程度でした。問3の正答はドイツですが、後から参戦したオスマン帝国ないしブルガリア王国と答えた場合にも部分点を与えました。第一次世界大戦期に登場した「新兵器」以外のものを選ぶ問6の正答率は8割程度でしたが、逆にいうと正答の「原子爆弾」以外を選んだ人も2割弱いることになります。

【解答例】

問1 (a) × (b) × (c) ○ (d) ○ (e) × (f) ○

問2

1. 交流、革新、創造の源として、文化の多様性は生物の多様性が自然界にとって必要であるように、人類にとって必要（欠かせない）なものである。
2. それは、単に経済成長という意味でのみ理解すべきではなく、より充実した知的、感情的、倫理的、精神的在り方を達成するための手段として理解すべき開発の根幹の一つである。
3. (ア) diverse (イ) future (ウ) together (エ) society (オ) everyone

問3

1. b
2. 社会で生きていくためには、共感を得たり、違和感を覚えたりすることを繰り返しつつ、価値観の違う相手と粘り強くコミュニケーションを続けることをいとわない精神的な体力が必要だと考えているため。

問4

1. (a) ○ (b) ○ (c) ○ (d) × (e) × (f) ○
2. 社会的マイノリティと接触の少ない人たちで、それらの人々に心の壁を感じない人が多いのは、それらの人々に無関心であるがゆえに何の感情も抱かないためと考えられる。しかし、様々な社会的マイノリティの人々とも身近で共生する今日ではそれらの人々に無関心ではいられない。社会的マイノリティの人々とできるだけ多く接触し親密度を濃くすることで、それらの人々との間に生じる心の壁を本当の意味で取り除かねばならない。

問5 (下の講評を参照)

【講評】

今回のテーマは「対話」です。哲学などでは古来より重視されてきましたが、「戦争・暴力の反対語は、平和ではなく対話です」(暉峻淑子『対話する社会へ』岩波新書、2017)という意見もあるように極めて今日的な用語(概念)でもあります。現代社会に生きる私たちにとっての「対話」の必要性を様々な資料をもとに自分事として論じてもらう課題として設定しました。すべての問題がこのテーマに関わっていますから、最初から丁寧に資料を読むことが大切です。英語の問題も同様です。問いに答えつつ自分の考えを深め、最後の小論文でまとめてほしかったのです。

問1は、対話と会話を比べながら対話の意義をとらえる問題でした。資料の文章がしっかりと読めたようでよくできていました。

問2は、国連総会で採択された文章です。1と2は条約文の一部を日本語訳する問題でしたが不十分な訳が多く見られました。まずしっかりと主語を定めることが大切です。そして、個々の単語の意味をとらえた上でそれを構文にあてはめて訳していかなくてはなりません。文法の知識が求められます。文章と対話するためにも文法は不可欠です。ここでの訳文が問5で生かされます。3はよくできていました。

問3は、対談の読み取りなので、内容的にはとらえやすかったようです。1はよくできていました。2についてもよく書けていましたが、問題文をきちんと読まずに書いてしまったような文章がありました。

問4は、グラフ化した意識調査の結果を読み取る問題です。調査項目がやや分かりにくい表現でしたが、全体的にデータを把握し、1も2もよくできていました。

問5は、問4までのそれぞれの内容を踏まえたうえでの総合的論述です。残念ながら問2の内容を回避した論述がありました。また、問題文の「どのような対話が必要となってくるでしょう」という中心的な問いに正対しないで、テーマに関して自分の思いのみを語ってしまうものもありました。時間的な制約はありますが、必要な自分の主張を明確に示す文章表現力が求められます。

【解答例】

- 問1 (1) ア (2) 世界観や自己観を豊かにする(「自己観を豊かにする」も可)
(3) 勉強によって世界と自分の関係が整理されて見えてくること、そのような内界の
充実をわれわれは求めているのです。
- 問2 (a) ○ (b) × (c) × (d) ○ (e) ×
- 問3 (a) × (b) × (c) ○ (d) ×
- 問4
- (1) 古典的な教育というのは、たくさんの美しい、驚きに満ちた部屋を持ち、一生掛けて学
ぶことができるほどの、とても大きな博物館のようなものである。
(許容例) 古典教育(教養教育、またはクラシック教育)というのは、美しく驚きに満ち
た空間をたくさん有している巨大な美術館のようなもので、一生学び続けることができ
るであろう。
- (2) the verbal arts of the trivium / the trivium
(許容例) trivium / verbal arts / grammar, logic, rhetoric / grammar, logic or dialectic, and
rhetoric
- (3) 4
- (4) 学び方と考え方
- 問5 (下の講評を参照)

【講評】

昨今、データサイエンスの需要が高まっている反面、古典や文学を軽視した発言、およびそれを批判する主張やニュース記事が散見しています。こうした中で、「リベラルアーツや古典教育などの教養教育を学ぶ意義」とは何でしょうか。このことについて、複数の資料や論述をもとに考えて論じてもらいました。

問1は、人が学びの中で内界と外界の整理をしつつ、世界観や自己観を豊かにし、内界を充実させることを読み解く問題でした。(2)の正答率はやや低いものの、この問で重要な(3)の正答率は高くなっていました。

問2は各国の高等教育の専攻分野の異同を統計資料から読み解く問題でした。問3は日本の高等教育在学生在が学びを通して「どのような力が身についていると思うか」を専攻分野の系統別に統計資料から読み解く問題でした。問2と問3は正誤問題で、多くの方がよくできていました。

問4は、発達段階に応じた学習指導によって、高校3年生(K-12)までに古典教育に沿った「学び方や考え方」の基礎固めをするという教育システムについて、英文から読み解く問題でした。全体的にやや平均点が低く、特に(1)の和訳の問題で苦戦している様子でした。

問 5 は、問 1 から問 4 までの資料や論述で読み解いたことをもとに、世界や人間、社会について学ぶ教養教育の意義を考えて論じる問題でした。答案の中には、自分自身の個人的な経験や社会問題の観点から論述した解答や、白紙または字数不足の解答もやや見受けられた反面、資料から読み解いたことに基づく論理的な解答も一定数見受けられました。